

第3回小島嶼開発途上国（SIDS）国際会議

牧野政務官スピーチ（9月2日）

【冒頭】

ご列席の皆様、

今回、初めてサモアを訪問する機会に恵まれましたが、
日本では、サモアについて、広く知られたこのような歌があります。

「青い青い空だよ 雲のない空だよ サモアの島 常夏だよ。」

文化人類学者がサモアから日本に持ち帰ったと言われる民謡は、
この歌い出しとともに、1961年にテレビの全国放送で
「サモア島の歌」として紹介されました。

歌詞のとおり、サモアは実に美しい国です。
島国の素晴らしさを次世代に引き継ぐべく、
みなさんと知恵を結集する場に参加できることは、この上ない喜びです。

SIDSは、様々な課題を抱えておりますが、
我が国は、7月に安倍総理がパプアニューギニアとトリニダード・トバゴで
表明されたとおり、
小島嶼国特有の脆弱性克服を含む持続可能な開発を重視しています。
そして、人間の安全保障の観点から、特に、
「気候変動」、「防災」、「保健」の3分野が重要だと考えます。

【気候変動】

まず、気候変動ですが、
環礁国家を初めとする島国の未来のためには、
この問題への対応が喫緊の課題です。

この強い危機意識の下、我が国は、SIDS向けに、
昨年約3億ドルの気候変動対策支援を行いました。
また、7月には東京で、島国の気候変動交渉担当者との対話を開催し、
21カ国が参加する有意義な対話となりました。
今後も、ハードとソフトの両面で、力強い施策を進めてまいります。

【防災】

また、島国は、常に自然災害の脅威にさらされています。

対策の肝は、防災への事前投資ですが、我が国は、SIDSに対して、
気象観測や潮位計測のための機材整備や、
住民向け避難訓練を実施してきました。
今後も、ラジオ放送の整備、防災の広域専門家派遣、
洪水ハザードマップの導入といった具体的取組を支援いたします。
さらに、来年3月には東日本大震災の被災地仙台で
「第3回国連防災世界会議」を開催しますので、
各国より是非参加頂きたいと思えます。

【保健】

健康の秘訣は、日々の予防と早期発見です。

全国津々浦々、すべての人が基礎的な保健サービスを受けられる仕組み、

「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」は、我が国の誇る財産の一つですが、SIDSにおいても、ヘルスプロモーション基金の導入の後押しなどにより、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」の達成に向けて貢献してまいります。また、予防のための非感染症疾患のスクリーニング体制の拡充を支援してまいります。

【人材育成】

気候変動も防災も保健も、成功の鍵は、「担い手」の有無です。

我が国は、これらの3つを含む幅広い分野での人づくりを進めるべく、ODAを活用して、SIDS各国において今後3年間で5,000人の人材育成を支援します。

【結語】

冒頭にご紹介した歌は、

「一緒に並んで 愉快地に踊れば 僕らの島 楽しい島よ。」

という歌詞で締めくくられます。

我が国は、これからも、SIDSとともに考え、歩みたいと思います。

ご清聴、ありがとうございました。

(了)